



機関紙「フィトンチッド」

第4号

2021年2月発行

県の「令和2年度 最上の魅力発見発掘支援事業」に参画しました！

昨年4月に、県から公募があり、NPOとして「小水力発電」を検討中だったこともあり、金山町の自然エネルギー特に水資源に着目し、「有屋地区の水資源を発見発掘」することをテーマに応募しました。最上総合支庁の指導もいただきながら、6月25日に認可されました。事業は、町民対象の「水資源をめぐる学習交流会」とそれを、地域の学童に伝える「実習見学会」の2つです。水利組合長や町議さん、教育委員会の助けを借りて準備しました。

①10月31日、金山町中央公民館を会場に約30名の参加で、学習交流会を開催しました。講師の浦井彰氏（ISEP 研究員）からは、地域資源を活用した地域興しの具体例が示され、7名の方から水資源に関わる経験や意見が出されました。特に99歳の五十嵐さんの「バッタリ」経験報告はみなさんの注目を集めました。

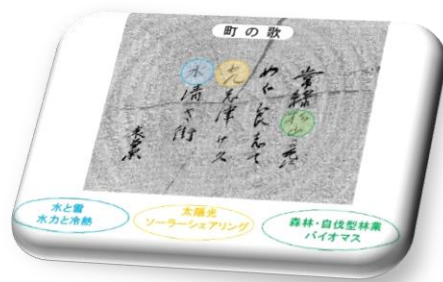


②11月22日、有屋小学校を拠点に学童対象に、再エネ特に水資源の活用の実習見学を予定しました。しかし11月に入ってから全国的なコロナ第3波の拡大の中、安全を重視し、企画を一部修正しました。

（その1）11月22日は、地域の学童に伝える予定であった企画の内容を確認するため、NPOの役員を中心に、有屋小学校で予行演習を行いました。2名の議員さんも参加し、童心に帰って自然エネルギーを体験しました。

（その2）この日、配布を予定していた資料を再編集して冊子とし、当日の予行演習の写真・動画等をDVD媒体に編集し、そのセットを教育委員会経由で各学校に配り、学童が閲覧できるようにしました。このセットは、役場と中央公民館にも置きましたのでご覧下さい。

ふりかえれば、金山町は自然エネルギーの宝庫です。気候危機が叫ばれ、化石燃料から離脱が国内外の大きな課題になっています。町の自然エネルギーを活かすことは、町を豊かにすると同時に、地球環境を守ることにつながります。NPOかねやま電雪は、その夢を地域の若い方々に、引き続き伝えたいと思っています。（水戸部）



思い出の昭和展示



※塩竈公民館にてお宝発表会があり
蓄音機を持ち込んで展示と実演です
春日八郎の名曲「別れの一本杉」を動画撮影する水戸部理事の姿

小水力発電計画



※洪水や土砂災害防止に
整備された金山川の様子
ダム建設のだいぶ前です

水量測定の実験でタイムラプス撮影中

昭和の金山川



令和の金山川



※十数か所の落差は
小水力発電利用に最適
神室ダムの下流なので
洪水も無く草木が伸び放題

ソーラーパネルの様子

1月の大雪



パネル角度30度で落雪

※豪雪地帯でも雪下ろし作業なし！
山間地域に設置が実証出来ました

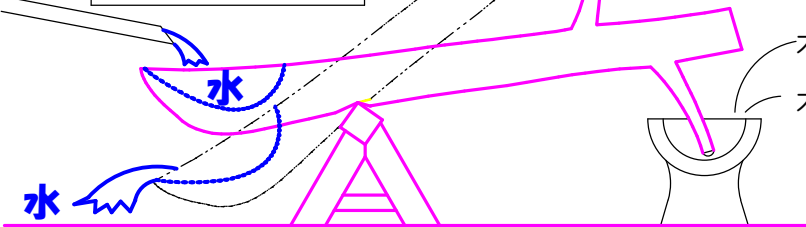
雪中野菜栽培計画



☆空き家型雪室内に
秋野菜を植え付ける
☆畝の両側に雪が積もる
観察はまだですが

復元製作予定

ぼったり壱號



☆水力利用
☆水撃ポンプ

木質チップ ☆バイオマスエネルギー
木質ペレット ☆スチームエンジン
☆スターリングエンジン
☆木炭車エンジン

※カーボンニュートラルを基本とする

これからの伝説！

☆NPO事業活動のコロナ対策
☆他の団体との交流



特定非営利活動法人
かねやま電雪

999-5401 山形県最上郡金山町大字有屋312番地
事務局Tel 080-2303-3763 (担当 小沼・丹)
HP: <http://kaneyamadensetu.kirakirahatuden.com/>

